

臨床研究に関する情報

当機関では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報と研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 敗血症における plasminogen activator inhibitor-1 の変動

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究代表者名・所属] 早川 峰司・北海道大学病院救急科

[研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名]

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 熊野穰・大石勲

[研究の目的]

敗血症（感染症による重症病態）では、血栓を溶解する反応（線溶反応）を阻害する物質である plasminogen activator inhibitor-1：プラスミノゲンアクチベーターインヒビター1（PAI-1）がその病態に大きく影響している可能性が示唆されています。本研究では、PAI-1の推移や、PAI-1と他の凝固活性化や炎症の指標との関係性を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2019年10月1日から2024年6月15日（2021年6月13日から2021年12月13日までの期間を除く）までの間に北海道大学病院救急科に入院となった敗血症の患者さんで、研究目的の血液保存に関して文書にて同意をされた方

○利用する検体・情報

検体：血液

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査）重症度スコア

2024年7月9日までのカルテ情報を利用します。

○送付方法

この研究は、上記の研究機関で実施します。上記の検体は、PAI-1等の解析のために、国立研究開発法人 産業技術総合研究所に送付します。

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用開始：2024年8月頃)～2026年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりました

い場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができません。

研究に利用する患者さんの検体・情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院救急科 担当医師 早川峰司

電話 011-706-7377 FAX 011-706-7378

[産業技術総合研究所（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

香川県高松市林町2217-14

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 健康医工学研究部門 担当者 熊野穰

電話 087-869-3511